

# 平成 30 年度 山形のみちづくり評議会 (第 4 回) 議事要旨

## 1. 日時

平成 31 年 3 月 15 日 (金) 10 : 30 ~ 12 : 00

## 2. 出席委員

柴田会長、貝山委員、塩原委員、宮原委員、池田委員、小山委員、和田委員、角湯委員

## 3. 議事

- (1) 「山形県道路中期計画 2028」について
  - パブリック・コメントの結果と対応方針
  - 最終案
- (2) 「やまがた道の駅ビジョン 2020」の取組み状況について

## 4. 議事概要

- (1) 「山形県道路中期計画 2028」について
  - 「山形県道路中期計画 2028」について、パブリック・コメントの結果と対応方針および最終案を事務局より説明した。
- (2) 「やまがた道の駅ビジョン 2020」の取組み状況
  - 平成 28 年 3 月に策定した「やまがた道の駅ビジョン 2020」について、平成 30 年度の取組みの状況報告を行った。

## 5. 山形のみちづくり評議会 (第 4 回) における主な意見

主として、次期道路中期計画における各施策の取組み方針等について、以下のような意見交換がなされた。

- (1) 「山形県道路中期計画 2028 の最終案について」
  - ・ 第 3 回みちづくり評議会までに挙げられた委員の意見が反映されており、最終案を「山形県道路中期計画 2028」として本評議会承認する。
  - ・ 国道 113 号、121 号、347 号などは、他県との連携において重要な路線と考えられる。次の改訂に向け、補助国道と並ぶ横軸としての道路のあり方を議論するとともに、表示方法等についても検討が必要。
- (2) 「やまがた道の駅ビジョン 2020」の取組み状況について
  - ・ 道の駅以外の類似施設 (ドライバーの休憩に利用される物産館等) が一様に分布していることがわかるように、明示した方が良いと思う。
  - ・ 豪雪時の危険回避という点でも、車中泊専用エリア (以下、RV パーク) のニーズがあ

る。夜間に駐車場からトイレへの導線上に照明を設ける等、RVパークの整備と合わせて車中泊をする利用者のための環境整備も進めてほしい。

- ・ RVパークを整備するときは、事前に周辺地域や宿泊業者へ丁寧な説明を行い、理解を得ることが重要。一般的に、車中泊と旅館・ホテルでは、利用する客層が異なり競合しないと考えられる。
- ・ 道の駅「米沢」は、東北中央自動車道（福島大笹生IC～米沢北IC間）が無料のため福島県側から来訪しやすいことが成功要因の一つである。これからの「道の駅」の整備にあたっては過度な期待は禁物であるが、「米沢」を参考に市町村の指導にあたってほしい。
- ・ 道の駅「米沢」では多くの来場者で賑わっているが、パーク&ライド利用の長時間駐車の影響により、「道の駅」利用者の駐車場不足が生じないか今後注視する必要がある。
- ・ 庄内及び最上地域の「道の駅」が少ないので、県から各市町村に整備推進を積極的に呼びかけていただきたい。取付道路の整備などでは、地元の意見も汲み取って進めてほしい。

以上